



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 木村化工機株式会社

コード番号 6378 URL <http://www.kcpc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 康真

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門長 (氏名) 谷本 周平

TEL 06-6488-2501

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,316	20.2	661	301.6	622	242.5	389	286.4
27年3月期第2四半期	6,915	△4.0	164	359.8	181	631.6	100	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 394百万円 (73.9%) 27年3月期第2四半期 226百万円 (314.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	19.76	—
27年3月期第2四半期	4.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	20,604	7,633	37.0
27年3月期	21,371	7,377	34.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 7,633百万円 27年3月期 7,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	7.00	7.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,600	3.0	984	△9.6	940	△15.5	580	△3.2	29.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	20,600,000 株	27年3月期	20,600,000 株
28年3月期2Q	866,578 株	27年3月期	866,578 株
28年3月期2Q	19,733,422 株	27年3月期2Q	20,509,658 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(キャッシュ・フローの状況の分析)	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
	(継続企業の前提に関する注記)	11
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
	(セグメント情報等)	11
4.	補足情報	12
	(受注、売上及び受注残の状況)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は総じて底堅く推移し、また円安・原油安等による企業収益の向上もあり、景気は全般的に緩やかな回復基調を維持しました。

当社グループの業績にかかわる国内向け設備投資につきましては、世界経済の先行き不透明感や在庫調整の長期化等から、一部の企業を除き、慎重な姿勢が目立ち、おおむね横ばいで推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、受注高は8,342百万円と前年同四半期に比べ3,013百万円の減少(△26.5%)であったものの、売上高は8,316百万円と前年同四半期に比べ1,400百万円の増加(+20.2%)となりました。

損益面につきましては、当第2四半期連結累計期間の営業利益は661百万円と前年同四半期に比べ496百万円の増加(+301.6%)、経常利益は622百万円と前年同四半期に比べ440百万円の増加(+242.5%)となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は389百万円と前年同四半期に比べ289百万円の増加(+286.4%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① エンジニアリング事業

化学機械装置の設計・製作・据付工事を行うエンジニアリング事業につきましては、積極的に営業活動を展開いたしましたが、顧客の慎重な景気判断もあり、前期ほどの大型案件を受注するにはいたりませんでした。

以上の結果、受注高は2,803百万円と前年同四半期に比べ1,850百万円の減少(△39.8%)となりましたが、売上高は、前期受注案件の売上を計上したことから、3,454百万円と前年同四半期に比べ1,161百万円の増加(+50.7%)となり、セグメント利益(営業利益)23百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)151百万円)となりました。

## ② 化工機事業

化学機械装置の現地工事、メンテナンス業務を行う化工機事業につきましては、平成27年3月期決算において業績を改善された顧客が新規設備の設置や既存設備の増強等を計画されたことから、それらの案件を受注するため積極的に受注活動を行いました。前年同期の水準には及びませんでした。

以上の結果、受注高は3,666百万円と前年同四半期に比べ273百万円の減少(△6.9%)、売上高は2,871百万円と前年同四半期に比べ130百万円の減少(△4.3%)となりましたが、セグメント利益(営業利益)は218百万円と前年同四半期に比べ67百万円の増加(+44.9%)となりました。

## ③ エネルギー・環境事業

主として原子力機器の設計・製作・設置工事を行うエネルギー・環境事業につきましては、前期から継続していた福島第一原子力発電所の汚染水処理に関わる遮へい体の受注が大幅に減少したことを主因として、受注が伸び悩みました。

以上の結果、受注高は1,872百万円と前年同四半期に比べ890百万円の減少(△32.2%)となりましたが、既受注の遮へい体に関する売上を計上したことから、売上高は1,990百万円と前年同四半期に比べ368百万円の増加(+22.7%)となり、セグメント利益(営業利益)は420百万円と前年同四半期に比べ254百万円の増加(+153.2%)となりました。

なお、当社グループは、通常の営業形態として、年度末に完成する工事の割合が大きいため、各四半期の生産、受注及び販売の状況の間に著しい相違があり、四半期毎の業績に季節的変動があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により474百万円減少、投資活動により109百万円減少、財務活動により431百万円減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間期首に比べ1,058百万円減少(前年同四半期末比832百万円増加)し、当第2四半期連結会計期間末には3,093百万円となりました。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動により資金は474百万円減少し、前年同四半期の1,277百万円の流入から1,751百万円変動し、流出に転じました。主な要因は、仕入債務の減少つまり仕入債務の支払の増加、法人税等の支払額の増加などです。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動により資金は109百万円減少し、前年同四半期に比べ57百万円流出が増加致しました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が増加したことです。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動により資金は431百万円減少し、前年同四半期に比べ68百万円流出が減少致しました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が減少したことです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3および第4四半期につきましては、中国をはじめとする新興国経済の減速がわが国の実体経済に波及し、景気の足踏みが懸念されます。このような状況のもと、当社グループは、引き続き顧客のニーズを的確に捉え、受注高を増加させるための営業活動に注力してまいります。

なお、平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高は変更ございませんが、利益面について、大型案件の一部においてコスト増が見込まれることから、平成27年8月12日公表の業績予想から変更しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,151	3,093
受取手形及び売掛金	8,832	7,442
仕掛品	998	1,441
原材料及び貯蔵品	23	15
繰延税金資産	235	235
その他	381	1,450
貸倒引当金	△19	△17
流動資産合計	14,603	13,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,234	1,205
機械装置及び運搬具（純額）	125	136
工具、器具及び備品（純額）	38	46
土地	3,664	3,664
リース資産（純額）	16	48
建設仮勘定	0	1
有形固定資産合計	5,079	5,103
無形固定資産	33	35
投資その他の資産		
投資有価証券	997	969
繰延税金資産	613	611
その他	49	228
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	1,654	1,804
固定資産合計	6,768	6,942
資産合計	21,371	20,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,560	5,541
短期借入金	546	494
リース債務	8	12
未払法人税等	672	241
前受金	1,200	1,884
賞与引当金	359	329
役員賞与引当金	16	—
工事損失引当金	—	7
完成工事補償引当金	108	123
その他	574	459
流動負債合計	10,047	9,094
固定負債		
長期借入金	1,121	889
リース債務	10	39
役員退職慰労引当金	177	189
退職給付に係る負債	1,551	1,671
資産除去債務	63	63
再評価に係る繰延税金負債	1,023	1,023
固定負債合計	3,946	3,876
負債合計	13,994	12,971
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,030	1,030
資本剰余金	103	103
利益剰余金	4,386	4,638
自己株式	△505	△505
株主資本合計	5,013	5,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	295	275
土地再評価差額金	2,147	2,147
退職給付に係る調整累計額	△79	△54
その他の包括利益累計額合計	2,363	2,368
純資産合計	7,377	7,633
負債純資産合計	21,371	20,604



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	6,915	8,316
売上原価	5,828	6,742
売上総利益	1,087	1,573
販売費及び一般管理費	922	911
営業利益	164	661
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	15
為替差益	8	—
受取賃貸料	5	5
その他	6	5
営業外収益合計	32	26
営業外費用		
支払利息	6	5
為替差損	—	48
支払手数料	6	6
その他	2	4
営業外費用合計	15	65
経常利益	181	622
税金等調整前四半期純利益	181	622
法人税等	80	232
四半期純利益	100	389
親会社株主に帰属する四半期純利益	100	389

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	100	389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	△19
繰延ヘッジ損益	0	—
退職給付に係る調整額	44	24
その他の包括利益合計	125	4
四半期包括利益	226	394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226	394

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	181	622
減価償却費	77	78
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	27	△30
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9	△16
工事損失引当金の増減額(△は減少)	—	7
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	6	14
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△25	△26
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12	12
受取利息及び受取配当金	△12	△15
支払利息	6	5
為替差損益(△は益)	△8	42
固定資産除却損	0	1
売上債権の増減額(△は増加)	602	1,389
たな卸資産の増減額(△は増加)	△532	△435
その他の資産の増減額(△は増加)	△104	△1,067
仕入債務の増減額(△は減少)	725	△1,018
前受金の増減額(△は減少)	338	684
その他の負債の増減額(△は減少)	△17	△69
小計	1,267	178
利息及び配当金の受取額	12	15
利息の支払額	△6	△5
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	3	△663
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,277	△474
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△50	△104
無形固定資産の取得による支出	△1	△4
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他の支出	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52	△109

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△344	△284
リース債務の返済による支出	△10	△8
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△144	△138
財務活動によるキャッシュ・フロー	△499	△431
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	733	△1,058
現金及び現金同等物の期首残高	1,527	4,151
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,261	3,093

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	化工機事業	エネルギー ・環境事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,292	3,001	1,621	6,915	—	6,915	—	6,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	26	—	42	—	42	△42	—
計	2,308	3,027	1,621	6,958	—	6,958	△42	6,915
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△151	150	165	164	—	164	—	164

(注)1. 調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	化工機事業	エネルギー ・環境事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,454	2,871	1,990	8,316	—	8,316	—	8,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	213	—	220	—	220	△220	—
計	3,461	3,084	1,990	8,536	—	8,536	△220	8,316
セグメント利益	23	218	420	661	—	661	—	661

(注)1. 調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 4. 補足情報

(受注、売上及び受注残の状況)

セグメント	期別 前第2四半期連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日		前連結会計年度 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
(受注高)						
エンジニアリング事業	4,654	41.0	2,803	33.6	12,084	49.3
化工機事業	3,939	34.7	3,666	44.0	7,859	32.0
エネルギー・環境事業	2,762	24.3	1,872	22.4	4,587	18.7
合計	11,356	100.0	8,342	100.0	24,531	100.0
(売上高)						
エンジニアリング事業	2,292	33.1	3,454	41.6	6,856	36.0
化工機事業	3,001	43.4	2,871	34.5	7,448	39.1
エネルギー・環境事業	1,621	23.5	1,990	23.9	4,731	24.9
合計	6,915	100.0	8,316	100.0	19,036	100.0
(受注残高)						
エンジニアリング事業	5,441	34.1	7,657	44.9	8,307	48.9
化工機事業	2,263	14.2	2,532	14.9	1,737	10.2
エネルギー・環境事業	8,244	51.7	6,840	40.2	6,958	40.9
合計	15,949	100.0	17,029	100.0	17,003	100.0
(注) 輸出状況						
輸出関係売上高(百万円、%)	(前第2四半期連結累計期間)		(当第2四半期連結累計期間)		(前連結会計年度)	
	611	8.8	324	3.9	2,427	12.8
エンジニアリング事業	548	7.9	294	3.5	2,299	12.1
エネルギー・環境事業	62	0.9	29	0.4	127	0.7